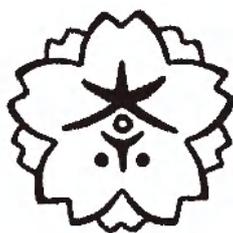


# 奈良市の健康医療

令和2年度版



奈良市健康医療部

## はじめに

2020（令和2）年度版の「奈良市の健康医療」をお届けします。今年度は、2019年12月に武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が世界的に流行する事態となりました。東京オリンピック・パラリンピックは来年度に延期され、緊急事態宣言が発令されるなど、日本においても国民の生活や経済に多大な影響が出ています。今もなお新型コロナウイルスの感染者が発生する状況です。市民の皆様におかれましても、手洗い・マスクの着用や在宅ワークの実施等、新しい生活様式の徹底、感染予防対策にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。このような状況下で、各地では豪雨や台風などの自然災害の脅威にも晒されました。感染症だけでなく災害時の医療体制並びに保健衛生活動を強化すべく、様々な取組をより一層推進してまいります。

近年、動物の福祉に係る問題が多く提起され、2019年6月には動物愛護保護法が改正されました。本市では「犬猫の殺処分ゼロ」を目標に掲げ、様々な取組を推進してまいりました。昨年度は、自然死・安楽死を除いて殺処分ゼロを達成することができました。これは行政だけでなく、市民や民間事業者、動物愛護団体等の方々の協力の結果です。今後も殺処分ゼロを継続して達成することができるよう、取り組んでまいります。

さて、健康増進法の改正に伴い、奈良市では昨年7月に全市有施設を敷地内禁煙としました。本年の4月には飲食店等が原則屋内禁煙となり、望まない受動喫煙に向け、一步前進したところであります。また、終日全面禁煙を実施している店舗のうち、「奈良市禁煙おもてなし施設」としてご登録いただいている店舗は、令和2年4月現在で121施設となりました。今後も、市民の方々やお店・施設の協力を得ながら、受動喫煙対策に取り組めます。

本書は令和元年度に健康医療部で行った保健衛生業務の事業実績をまとめたものです。市民の方々が安全に安心して暮らせるよう、これらの業務を着実に実行し、健康医療部並びに中核市保健所としての役割を果たしてまいります。

本市の取組を皆様にご理解いただき、広くご活用いただければ幸いです。

奈良市健康医療部長

（保健所長事務取扱）

佐藤 敏行